

離任のごあいさつ

この度の令和2年度教職員人事異動により、須賀川市立第一中学校に異動することになりました。

須賀川市立稲田中学校に赴任して4年、小中一貫教育校となって2年となりましたが、明るい笑顔の児童生徒に囲まれ、温かい保護者や地域の方々に支えられ、さらには素晴らしい教職員に助けられて仕事をすることができました。本当に皆様に感謝しております。

赴任した時は4年ぶりの学校現場だったので、毎日子ども達と接することが楽しみでした。私にとって子ども達の笑顔とあいさつが最高のエネルギー源でした。

また、忙しい教育現場ですが、献身的に子ども達のことを第一に考えて仕事にあたっている教職員の皆さんにも感謝しております。「仕事は騒いでやりましょう」とお願いしていたところでしたが、いつも職員室からは笑い声が聞こえ、同僚性を発揮していただきました。

さらには、学校を温かく見守っていただくとともに、支えていただいているのは、PTA役員をはじめとする保護者や地域の方々でした。数多くの学校行事や子ども達の活動に対するご支援、さらには学校サポーターとして教育活動にご協力をいただくなど、数多くの場面で、多大なご理解とご支援、ご協力をいただいたことに衷心より感謝申し上げます。

この4年間、小中一貫教育校 稲田学園 を開校するにあたって、教育施設の工事などでは、子ども達には不自由な思いをさせてしまったり、保護者や地域の方々には何かとご不便な思いをさせてしまったりしてしまいましたが、ようやくすばらしい教育施設が4年越しに完成しました。

また、須賀川市内初の小中一貫教育校 稲田学園 を開校するにあっては、地域や保護者のご意見を伺いながら、教職員で話し合いを何度も重ねて、現在のスムーズな教育システムが行われるようになりました。中学校の先生方が小学校の授業を教えたり、小学校の先生方が同じ校舎内で中学生に声をかけたり、さらには小・中学生が仲良く一緒に活動する姿が当たり前になってきました。先日行われた9年生の卒業式では、小・中学校の全教職員が晴れの門出を祝い見送っている様子は、まさに「小中一貫教育」の典型的な様子です。

こんなにすばらしい稲田学園を後にしなければならないのはとても残念ですが、稲田中学校・稲田学園で経験した多くの思い出や経験を財産にするとともに、次の赴任先でもがんばりたいと思います。

新しい教育環境が整い、保護者や地域の方々の温かい支援がある稲田学園は、今後ますます大きく飛躍していくのではないかと確信しておりますので、次の赴任先でも応援していきたいと思います。

これからの稲田学園の益々のご発展と、稲田学園の児童生徒、保護者・地域の方々、そして教職員の皆様のご多幸をご祈念して、離任のあいさつとさせていただきます。

本当に4年間お世話になりました。

令和2年3月

須賀川市立小中一貫教育校 稲田学園 校長 八木沼孝夫